



ニューズレター あすか

2008

1月号

通算178号

2008年1月1日

新年のご挨拶



医療法人あすか理事長
高橋 勲

あけましておめでとございます。すがすがしい新年をお迎えのことと存じます。昨年皆様方のご理解、ご協力をいただきつつがなく過ごすことができましたことを心より感謝いたします。私も少しずつではありますが新しい挑戦をすることができました。四月に地域密着サービス「野ばら」、小規模多機能事業所「つどいの家」をスタートいたしました。これらの事業所では少人数の利用者の方と職員が家族のように心を通わせることが出来ます。地域の方々、家族、ご利用者様、職員が参加する「つどいの家運営推進会議」では貴重な意見をいただき改善に役立てています。買い物や散歩、地域のお祭りやイベントに参加し家と事業所との往復だけでなく地域に積極的に出ていくことが求められます。「要支援」「要介護」の状態になっても「今までどおりの

生活の中で楽しみや喜び」を継続することに重点をおいています。これらのことは「野ばら」「や「つどいの家」においてだけでなく、すべての介護サービス事業所においてもとても大切なことです。

品質マネージメントシステム「ISO9001」も更新審査をパスしました。介護サービス事業所においては行政による介護サービス情報の公表の調査がありますがそれだけではなく、地域の第三者機関による評価、外部の審査機関によるチェック、事業所内での内部監査など積極的にを行っています。また、皆様からいただく意見や苦情はCS委員会(顧客満足向上委員会)で、事故や転倒は安全対策委員会で検討されます。これらのシステムをしっかりりと機能させ、今年も地域に根付いた事業所として各事業所間でいっそうの情報交換を行って「よりよきもの」を目指してがんばっていききたいと思っております。2008年もどうぞよろしくお願いいたします。



▶ 書道参加のご利用者様作
カレンダー



【目次】

【ページ】

1. 新年の各事業所の目標 2
2. おもしろきかな我が人生
~ 河村 良子さん ~ 3
3. あすか事業所だより 4
4. あすか事業所だより 5
5. 安佐医学会報告 6
6. あすか交流会のご案内
7. あすか1月のロードショー
8. 若竹句会 11月作品抄 7
9. NPO 在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワークに参加して 8



支援事業所

三原 千春



2008年の支援事業所の抱負はチームワークです。昨年度は専門性を高めるために毎週のように研修を重ねてきました。今年はそれぞれの得意分野を生かして、皆で協力をしながらよりよい支援をしていきたいと思っています。

まやるちょーく

高島 瑠美



2008年のまやるちょーくの抱負は「健康第一」です。利用者も職員も、体調はどうですか?と聞かれても「まあまあよ。」と笑顔で答えられるように体調管理に注意し、過ごしたいと思っています。

事務

中井 祐子



昨年5月より、事務の管理者が3人になりマネジメント業務がパワーアップしました。みんなで力を合わせ、それぞれの個性を活かして業務を遂行していきます。又、業務内容においては、ゴールを明確にし、無駄、過剰な作業にならないように進めていきたいと思っています。

しゅりあちょーく

沖田 真弓



しゅりあちょーくは利用者の皆様の日々の生活を大切にしながら、移り行く風景を楽しみ穏やかに、のんびり過ごして頂ける雰囲気作りをしてまいります。いつも笑顔で皆様をお迎えしたいと思っています。

野ばら

石田 聖子



昨年は「その人らしさ」を引き出す事ができ、今年は「その人らしさ」をさらに伸ばしていきます。お一人おひとりの個性・喜怒哀楽が自然と出る、居心地の良い雰囲気・環境をこれからも維持し『今日の家族』は...を利用者・スタッフ全員で大切にこれからも絆を深めていきたいと思っています。

看護

日高 洋子



今年の干支「子」には「ふえる」という意味があり、その特徴としては、「行動力と財」といわれています。私たち看護師も「子」の如く、積極的に医療・看護に関する知識という財産をふやし、皆様の健康管理をきちんと行っていきます。

ショートステイ

竹本 一喜



ショートステイでは、利用者の方が「ずっと、ここにいたい」と思って頂けるような空間を作りたいと思っています。常に、利用者お一人おひとりがなにを望んでいるのかを考え、きめ細かく接していこうと思います

つどいの家

向井 芳郎



家庭的な雰囲気、利用者の方に食事の準備を中心に役割を持って生活していただいています。今年は利用者の方により多くの役割を持って頂き生き生きと楽しく過ごせる場所にしたいと思います。

病児保育室

新谷 裕子



2008年の病児保育室の抱負は、病気のしんどさと保護者と離れる不安を受け止め、安心して安全に安静に過ごせるオアシスのような保育室となるよう努めていきたいと思っています。

訪問介護事業所「みどりの木」

休止のお知らせ

2007年12月より訪問介護事業所「みどりの木」をしばらくお休みすることにいたしました。サービスをご利用して頂いていた方にはサービス継続の調整をさせて頂きましたが、ご不自由がありましたら何でもご連絡ください。

連絡先 082-879-3143

担当 脇田



「気が付けば85年
娘たちに支えられ
た人生でだった」

お大正11年10月18日(85歳)

お住まい...安佐南区毘沙門台

大切なこと...自分を見失わないこと

好きな言葉...ありがとう

子供の頃

私は大変な山の中、沼隈郡赤坂村(現在は福山市赤坂町)で生まれ育ちました。小学校のころ、学校へ通うことが大変でした。一里以上あり、毎朝幼馴染のみんなと歩いていってました。私はよしこなのでよつちゃんと呼ばれていたんですよ。みいちゃんはずごく背が高く、私は低かったので「親子みたい」と言われたこともありました。その頃、書道や絵画が好きで、よく賞状をもらってました。展覧会に絵を展示するためによく先生に呼び出され、帰りはみいちゃんとは一緒に帰れず、薄暗い中一人で寂しく帰っていた思い出があります。みいちゃんは東村にお嫁に行つたけど、「今、どうしてるかなあ」「元気がしら...ふと懐かしさがこみ上げてきました。

目標に向かい

私は三人娘の長女で、母は私が小学校五年の時、32歳の若さでなくなりました。そんなこともあり、つらく、苦しい時期もありました。光が見えたのは16歳の時です。戦争へ行く兵隊さんがみんなに送られる姿にあこがれて、「私も期待されるようになりたい」といつも思っていました。そして選択した私の生き方が「看護婦」だったので。女学校を卒業するとすぐ東京へ行き、勉強に励みました。その頃は、みんなといっしょに一生懸命勉強し、目標に向かって頑張っていました。

忙しくて寂しさなど感じず楽しかったです。そして東京で念願の日赤看護婦になって、張り切って働きました。しかし戦争が激しくなり、昭和19年ごろ故郷の赤坂へ帰ってきました。赤坂では村役場の保健婦として、村の人々のために働き、充実した毎日を送っていました。昭和22年に7歳年上の夫と結婚しました。実は百姓家にはお嫁に行きたくなかったんです。広島三菱重工造船所に勤めているまじめそうな人だったので、一回あつただけで決めました。翌年には女の子が生まれました。かわいい一人娘です。戦後、日本があわただしく変わり、私たちの生活も忙しさで厳しさの中であつという間に過ぎて行つたような気がします。

しばらくして、広島市役所の隣にある広島市医師会臨床検査センターに務めはじめ、55歳で退職し、その後は娘一家と同居することになり、共働きで娘夫婦に代わって昼間は孫の守りをしながら家事をするようになりました。63歳の時、夫が癌で他界しましたが、孫の守りや家事に追われて悲しんでる間はありませんでした。

そして現在

私は花を育てるのが好きで、雨が降ってなかつたら、いつも庭に出て草を取ったり水をやったりと花が咲く楽しみを味わっていました。もちろん今も楽しんでます。孫も大き

くなり、曾孫も生まれました。85歳の誕生日には曾孫のけんちゃんとのんちゃんに囲まれて楽しい一日を過ごすことが出来てとても嬉しく思っています。優しい家族に愛されて私は幸せです。(写真1)



▲ 写真1

しゅりあちよーくでは色々な事に参加しています。大好きだった書道や絵画、そしてちぎり絵、手芸、園芸など楽しんでます。また自分の為にパワーリハビリを頑張っています。今の人生を大切にこれからも生きていきたいと願っています。最後に娘へ...ありがとう。これからもどうぞよろしく。

毎日、花の世話や看板作りなど手伝っていたありがとございます。「人の役に立ちたい」とその思いがずっと昔から続いておられるんですね。見習いたいと思います。花本ひとみ

11月は各事業所で文化祭が開催されます。一年間の活動の総決算です。

かるやんちよーく

11/2

かるやん祭

かるやんちよーくの秋祭り！一カ月半前からみなさんでみこし作りにとりかかり、準備したお祭りです。

庭園で栽培した芋の豊作のお祝いも兼ね、丸澤神主にお払いをしてもらい、甘酒をお神酒代わりに頂きました。笑いもあり大変な盛り上がりでしたが、神聖な雰囲気もあり思わず感極まって涙される方も多数いらっしやいました。かるやん祭、大成功！



1カ月半かけて作った
超大作みこし！



お神酒代わりの甘酒も大好評！



真剣に拝んでおられました。

つどいの家

11/3

つどいの家文化祭



つどいの家では、文化祭に向けて数ヶ月前より作品作りに取り組んできました。写真はその中のひとつ、これからの季節にぴったりの、つどい特製のあつたか膝掛けです！

お一人お一人が10センチ四方のモチーフをかぎ針で沢山編んでゆき、繋ぎ合せてかわいらしく縁取りしました。

展示してある作品を見て皆様で「あそこは私が編んだとこよ」「やっぱりあの方に編んだのがうまくできとるね」と色んな話が飛び出し、会話が盛り上がっています。



ひぎ掛けをかけて外出しました。

しゅりあちよーく・野ばら祭り

11月9日のお昼、人相の悪い男に変装した司会のスタッフの登場と共にしゅりあちよーく・野ばら祭りが始まりました。

まずパワリハグループの手品で、現金一万円が消えて無くなる手品にご利用者様も驚かれました。コーラスによる「証城寺の狸囃子」「旅愁」の歌声・ご利用者の羽原様による紙芝居「大きなかぶ」・フラダンスに参加されているご利用者様の踊りに、野ばらのご利用者様による「紅葉」の輪唱と大いに盛り上がりました。

今年、しゅりあちよーくと野ばらが一緒になってはじめてのお祭りでしたが、大成功に終わりました！



人相の悪い男に変装したスタッフ



「紅葉」を熱唱。作本様・五領田様



「証城寺の狸囃子」「旅愁」を熱唱
八林様・井上様・植村様



藤本様とスタッフ松本の素晴らしい手品芸

食欲の秋だよ！ スイートポテト作り

シヨート、つどいの家でスイートポテト作りをしました。蒸したサツマイモの皮をむいて牛乳、砂糖、卵、バター、生クリームを入れて混ぜ合わせスプーンで型に入れて卵黄を刷毛で塗ってオーブントースターで焼きました。フロアはスイートポテトの甘い香りに包まれ、緑茶と一緒に頂きました。「おいしかった」「おかわりある？」など皆様笑顔で秋の味覚を堪能しました。



安佐医学会報告

11月18日

「重度認知症デイケアでの 認知症の人のための
ケアマネジメントセンター方式の活用」

大前 恵美

安佐医学会では、かるやんちょーくが、昨年5月よりセンター方式シートによるアセスメントを試み、認知症高齢者のケアマネジメントを行ってきた内容を発表しました。かるやんちょーくではデイでの日中の過ごし方や関りに必要と思われる情報シートのみを選択し、ご本人の参加前にそのシートに沿ってご家族から多くの情報を頂きました。昔と現在の馴染みの暮らし方、暮らしの場面の中でできること・できないこと、わかること・わからないことなど、そこで得た情報を職員で共有し、ご本人を知ることに関係作りが容易になりました。

そして、一カ月後、実際にご本人と一緒に過ごしてわかったありのままの姿と気持ちについて話し合うと、参加前に得た情報以外の気付きや発見があり、さらにご本人へ近づきその方にあった対応を見つかることができました。また、ご家族に情報収集を協力して頂くことで、ご家族のご本人に対する思いを知ることができました。デイで必要だと思われるシートを選択し、一人ではなく全員で情報や気付きをそのまま記入し完成させていくことで、ご本人のありのままの姿を受け止め、より心に寄り添ったケアに生かすことができたのだと思います。

送迎時や連絡帳への記載等から頂く情報を大切にし、これからも利用者の皆様に生き生きと安心して過ごして頂けるような場所でありたいと思っています。



あすか交流会のご案内

平成20年1月19日(土) 13:00 ~ 15:00

第50回あすか交流会を開催いたします。

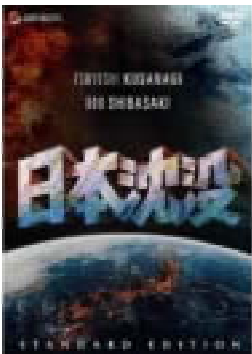
テーマは「義歯の取り扱いと口腔ケア」を予定しております。

詳しくは、後日、ご案内のパンフレットをお配りいたしますので、ご多忙中のこととは存じますが、ぜひ御出席くださいますようお願い申し上げます。

あすか1月のロードショー

あらすじ

大規模な地殻変動によって日本列島が海中に沈没するという危険性が指摘され、それを証明するかのようなマグニチュード8以上の大地震が次々と発生する。そんな中、大地震の被害にあった潜水艇のパイロット小野寺とハイパーレスキュー隊員の阿部は、幼い少女美咲を救出する。



出演：草ナギ 剛
柴咲 コウ

監督：樋口 真嗣

この映画は しゅりあちょーくで1/18日(金)

ショートステイで1/20(日)

まやるちょーくで1/21(月)・22日(火) に上映します。

各事業所では上映する映画についてのアンケートを実施中です。皆様のご希望により新しい映画もどんどん上映していきます。各事業所のシアター開催曜日は下記の通りです。

しゅりあちょーく	まやるちょーく	ショートステイ
毎週月・金曜日	毎週月・火・金・土曜日	毎週日曜日



若竹句会十一月作品抄

信廣高陽 選 (平成十九年)

ふるさとの 取り入れいかに 秋深し 西 富枝

〔寸評〕ことしの米作については、いろいろ取沙汰されているが、わがふるさとの収穫はどうだったのか、秋の深まるにつれて気になりだした。一筆啓上の筆頭に、この一句を掲げてみたら…。

豊漁や 旬の秋刀魚の 舌づつみ 大北 政子

〔寸評〕秋刀魚がよく獲れるニユースを見たと思ったら、魚市場に安売りが出回りました。秋刀魚はやっぱり旬のもの。作者の舌づつみの音が聞こえてきます。



かまきり 蠟螂の 斧ふりあげて 稲を刈る 栗根 年雄

〔寸評〕かまきりが稲刈り、こ我慢の斧を振り上げて。擬人法(人でないものを人に見立てて表現する技法)の見本みたいです。

ゆく雲に 何ことづてん 秋の暮 伊木 幹枝

〔寸評〕「ことづて」は伝言。宛先はもちろん、亡夫。秋の暮の哀愁の一句。

松手入れ 庭師のラジオ ひとり鳴る 奥田 アヤコ

〔寸評〕「松手入れ」は、新葉が成長する秋。余分の枝葉を剪りすて、丹念に姿を整えること。秋の季語。庭師にはラジオがつきもののようにすね。

松手入れ はさみ使わず ていねいに 河野 一枝

〔寸評〕はさみを使わないで指で芽や古葉などを切り取る職人さんほど上手だといわれています。

空は晴 新米先ずは 仏前に 常広 信枝

〔寸評〕晴天に恵まれて秋の収穫も順調に進んでいった。豊作を感謝して、先ずは仏様に新米のご仏飯をお供えするというほほえましい一句です。

散歩道 日毎色付く 富有柿 中谷 明子

〔寸評〕やや扁平、大形の富有柿が秋の日に照らされて、日ごとに色づいている様子がリズムよく表現されています。

園児より 選者 吟 売られた喧嘩 独楽廻す

信廣 高陽



NPO在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク

第13回全国のつどい in 東京 2007

「支え合う地域の創造」に参加して

認知症の常識を変えよう：認知症の一次予防・二次予防・三次予防

「認知症の病態からみた予防と根本的治療」

山口晴保先生（群馬大学医学部保健学科教授・日本認知症学会理事）の講演について報告します。

以下は、認知症の過半数を占めるアルツハイマー病を中心とした、疫学調査や動物実験などにより得られたデータから、脳病変そのものの進行を抑制する可能性が示されたものです。

中年期より、肥満・高血圧・高コレステロールを防ぎ、肉よりDHA（老人班を減少させる作用あり）を多く含む魚（アジ、サバ、マグロ等）を食べる。食べ過ぎに注意し腹八分目の食事を心掛ける。

カレーのスパイスでウコンに含まれるクルクミン、ワイン・ぶどうの種などの渋みに含まれるポリフェノールの摂取。老化性病変を抑制する作用あり。よく噛んで食事をする。しっかりと噛むことは記憶機能の保持に有効。自分の歯が無い場合でも、義歯を使用し、しっかりと咀嚼することで認知症になるリスクを低下できる。

人間関係の基本である「笑顔」が大切。「笑い」により、抗うつ、やる気アップ、覚醒、リラククス効果あり。

社会的接触、コミュニケーションにより、認知症リスクを低減できる。

中年期からの余暇運動でアルツハイマー病の発症を遅らせる。20分～30分以上、軽い息切れや発汗程度の運動を週2回以上行う。

山口先生による、「脳老化を防ぐ秘訣」

* 肉より魚と野菜の食事をよく噛んで腹八分目。

* 時にカレーを食べ、

* 赤ワインを少量飲んで

* 人と楽しく交わり、

* 大いに笑って、

* 週に2回は汗をかき、

* 前向きに明るく生きること。

ユーモアを交えたとても楽しい講演で、大変勉強になりました。

まやるちよーく 宮本理絵



医療法人あすかの理念・3S

～当法人はISO9001の認証施設です～

1. **Specialist** (専門家): 職員は、医療、看護、介護の専門家 (Specialist) としての誇りを持ち、実力を高めていくよう努力を続けます。
2. **Sympathy** (共感): 職員は、患者様と利用者様の人生全体を支えるためにその思いを共感し (Sympathy) 必要なサービスを継続的に提供します。
3. **Safety** (安全): 職員は、患者様と利用者様の健康と安全 (Safety) に対して細心の注意を払います。

【編集後記】

毎月、本誌をご愛読頂きありがとうございます。

今年も、ご利用者の皆様の笑顔をキャッチし、たくさんの元気を頂きたいと思えます。また、ご利用者様のニーズに合わせた通信になるようアンテナを張り情報を発信させていきたいと思っております。

今年もどうぞよろしくお願い致します。

発行元：医療法人あすか

(編集：浜本 正美・富永 さゆり)

住所：〒731-0103

広島市安佐南区緑井2丁目12-25

ご相談はお気軽に
あすか居宅介護支援事業所
082・830・5177
高橋内科小児科医院
082・879・3143
あすか通所介護事業所 まやるちよーく
082・870・3800
あすか通所介護事業所 かるやんちよーく
082・870・3800
あすか通所介護事業所 しゅりあちよーく
082・830・0552
あすか短期入所生活介護事業所
082・870・6700
あすか福祉用具貸与事業所
082・830・5177
あすか小規模多機能型居宅介護事業所 つどいの家
あすか通所介護事業所 野ばら
082・830・0552

“ニューズレターあすか” は当法人のホームページ上でも見ることができます

<http://www.asuka-net.or.jp>

高齢者の在宅療養を支援します